

【NEWS RELEASE】

2026年3月25日

各 位

 株式会社三井住友フィナンシャルグループ
 株式会社三井住友銀行

ケミカルリサイクルの推進に関する覚書締結について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、当社グループを総称し「SMBC グループ」）は、アサヒ飲料株式会社（代表取締役社長：近藤 佳代子、以下「アサヒ飲料」）および、ポリエチレンテレフタレート（以下、「PET」）を対象にした独自のケミカルリサイクル技術（※1）を有する株式会社 JEPLAN（代表取締役 執行役員社長 高尾 正樹、以下、「JEPLAN」）と共に、ケミカルリサイクル事業の拡大に向けた協力を推進する覚書を締結いたしました。本取組は、商用規模での利用を前提とした PET ボトルのケミカルリサイクル推進をメガバンクとして支援するのは初となります。また、株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「三井住友銀行」）は、本取組の推進および、JEPLAN の事業基盤強化を後押しする観点から、社会的価値創造投資枠（※2）を活用し、JEPLAN へ出資いたしました。


1. 背景

近年、資源循環の重要性が高まる中、使用済み PET ボトル等を再び資源として有効活用するケミカルリサイクルへの期待は一層高まっています。一方で、同事業の社会実装・拡大に向けては、安定的な原料確保、技術の高度化、事業採算性の確立、サプライチェーン全体での連携強化など、解決すべき課題も多く残されています。こうした課題を踏まえ、SMBC グループ、アサヒ飲料、JEPLAN の 3 社は、それぞれが有する知見・機能を持ち寄り、ケミカルリサイクル事業のさらなる推進に向けた協力を進めるべく覚書を締結いたしました。あわせて、こうした連携をより実効性あるものとするため、三井住友銀行は社会的価値創造投資枠を活用した JEPLAN への出資を通じ、本取組の推進基盤を強化してまいります。

2. 目的

JEPLAN が有するケミカルリサイクル PET の製造・安定供給機能、アサヒ飲料が有する需要創出・利用拡大の取組、ならびに SMBC グループが有する金融ソリューション、顧客基盤、ネットワーク等の総合力を結集することで、ケミカルリサイクル PET の利用拡大と社会実装を加速させることを目的としています。また、サプライチェーン全体の連携強化や事業スケールアップを通じて、

持続可能な資源循環型サプライチェーンの構築を後押しし、サーキュラーエコノミーの実現および社会的価値の創造に貢献することを目指してまいります。

3. 今後の取組

本取組に基づき、ケミカルリサイクル PET の安定供給、需要創出、利用拡大に向けた連携を一層強化してまいります。加えて、サプライチェーン全体の構築・強化や事業スケールアップに向けた検討を進めることで、ケミカルリサイクル PET の社会実装を加速させ、持続可能な資源循環型サプライチェーンの実現を目指してまいります。

(※1) JEPLAN ウェブサイト参照 (<https://www.jeplan.co.jp/technology/>)

(※2) SMBC グループ 2024 年 5 月 17 日付プレスリリース「社会的価値の創造に向けた経費枠の設定について」をご参照 (https://www.smbc.co.jp/news/pdf/j20240517_01.pdf)

以 上